

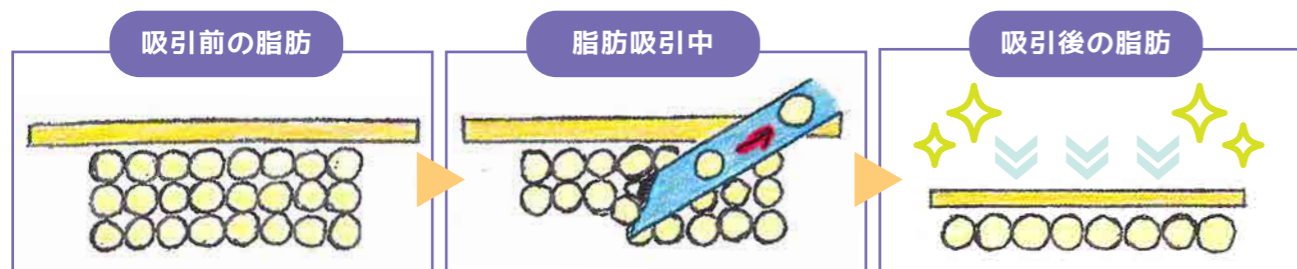
脂肪吸引



「あっ、去年の服がはいらない!」「ダイエットとリバウンドの繰り返しはもうイヤ」部分的に痩せたい…お腹、お尻、二の腕……など、悩んでいる方は案外多いのではないのでしょうか。このような方に検討して頂ける選択肢のひとつに、脂肪吸引があります。脂肪吸引は痩せたい部分の「脂肪細胞の数を減らす」治療です。実際どのような治療なのか興味のある方も多いのではないのでしょうか？今回は脂肪吸引のしくみやメリット・デメリット、そして当院で脂肪吸引を受ける利点についてご紹介します。

脂肪吸引の仕組みと手術の流れ

脂肪吸引とは「カニューレ」と呼ばれる吸引器具を使って皮下の脂肪細胞（皮下脂肪）を取り除く痩身治療です。脂肪細胞は脂肪の貯蔵庫であり、太ると大きくなったり、痩せると縮んだりする細胞です。脂肪細胞は再生しないので、吸引除去することで、確実に脂肪細胞を減らすことができます。傷跡は治療部位にカニューレが入る3～5mm程度で、吸引部分によって2～4カ所になります。下着や肌のしわに隠れる所で切開するので傷は目立ちにくいです。



局所麻酔をして切開。カニューレを使ってチュームセント液※1（麻酔）を注入

脂肪吸引用のカニューレを前後に動かして、陰圧をかけ掃除機のように脂肪を吸引

脂肪吸引後はチュームセント液をガーゼで排出。サポーターで約1～3ヶ月圧迫固定

※1) 生理食塩水、局所麻酔（リドカイン）、血管収縮剤（エピネフリン）、PH緩衝剤（メイロン）を混注したもの。脂肪と脂肪は硬くくっついているため、そのまま吸引をすると出血したり脂肪が効果的に吸引できません。一方チュームセント液を使用する事で脂肪と脂肪のくっつきを剥がし水分を含むことで硬い脂肪層が柔らかくなり脂肪吸引しやすくなります。血管収縮剤も使用しているため、手術中の出血も少ないです。



脂肪吸引のメリット・デメリット

メリット

- 短期間で確実な部分痩せが可能
- 食事制限や運動なしでサイズダウンできる
- 傷が目立ちにくい
- リバウンドしにくくなる

デメリット

- 術後のダウンタイムがある
- 体重はほとんど変わらない（脂肪は水よりも軽く1000ml除去しても体重は1kgも減らない）

体重減少より、トータルでバランスの取れたボディを目指す施術です。



脂肪吸引のここが知りたい! Q&A



どこの部位を脂肪吸引出来るんですか？

当院では顔を含む計12カ所可能です。詳しい部位は右の図をご参照下さい♪

痛みが心配です…。どれくらい痛みが続きますか？

筋肉痛のような痛みがあります。徐々に和らいで2～3日程度で殆ど楽になります。術後痛み止めの処方もありますのでご安心ください。

手術後どうして圧迫固定をしないとイケないんですか？

圧迫固定をする事で内出血、腫れ、痛みの軽減、水分の排出、血液循環の促進によるむくみ予防、筋肉と皮膚が癒着することで生じるくぼみの予防などの効果があります。

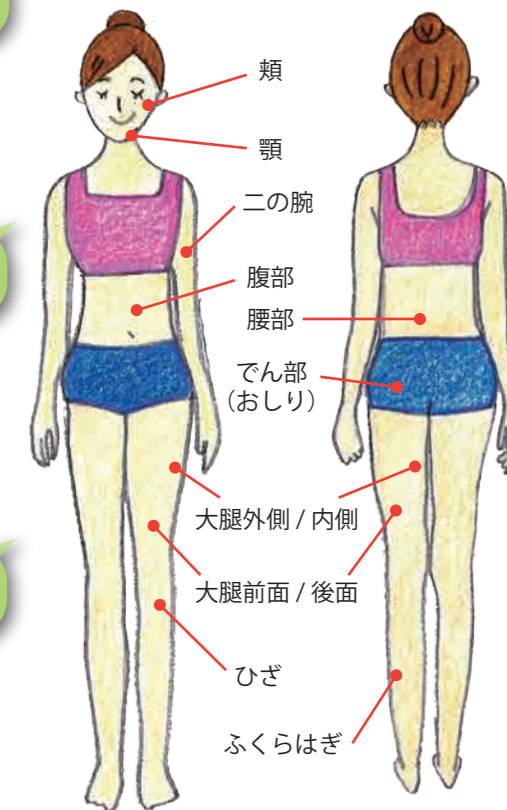
脂肪吸引の後、何か気をつけることはありますか？

脂肪細胞自体が減っていますが、残っている脂肪細胞が食生活や運動不足で膨張する事があります。そのためせっかくの手術効果をキープするためにも日々の生活で体重が大きく変化しないように気をつけることが大切です。

脂肪吸引をしたい気持ちがありますが不安です……。

美容だけに限りませんが手術を受けるということは、人生の中でも大きなイベントのひとつだと思います。そのため期待も大きい反面、不安があって当然。特に安全面に対する不安があるとなかなか前向きになれませんよね……。その点、当科は倉敷平成病院の中にある美容外科なので、【入院施設が整っている】【緊急時、他科の専門の先生と協力して治療を行える】事で緊急時の対応が迅速に行える為、安心して治療を受けていただけたらと思います。

仕上がりについては、まず脂肪吸引で大切なことは【デザイン通りに脂肪を確実に取ること】と【脂肪を取り過ぎないこと】。そのため、診察時にどこが気になるのか、結果どうなりたいのかを患者さんとお話をして相違がないようにします。立体的なデザインを意識し、除去すべき箇所から適切な量を取り除いて、患者さんの理想に近づける様に仕上げていきます。



社会医療法人全仁会 倉敷平成病院 総合美容センター TEL:0120-1616-09

倉敷市老松町4-3-38 倉敷平成病院1階 美容外科・形成外科・婦人科・乳腺外科

詳しい情報は今すぐウェブで! 総合美容センター 検索

ブログ「美容センター通信」更新中!